

川西市の環境を守るために私たちにできることって何だろう？

「快適な環境で暮らせる川西の実現」のために市民の皆さんが取り組めることをご紹介します。

1 省エネルギー家電を取り入れる

省エネルギー化が進んでいる新しい家電にすることで^{シーオーツ}CO₂を減らすことができます。

ポイント

- レベル2 照明をLEDにする
- レベル3 家電を買い替えるときに、より省エネルギーなものを選ぶ



2 使っているエネルギーの量を見える化する

何にどれくらい電気を使っているかが分かると節電等に取り組みやすくなります。さらに、エネルギーを管理するシステムとつなぐことで、家の外から家電の操作などができるようになります。

ポイント

- レベル1 スマートメーターを設置する
 - レベル2 省エネルギー診断を受ける
 - レベル2 HEMSなどのエネルギー管理システムを設置する
- HEMS：家庭のエネルギー消費量を消費者が把握できるシステム

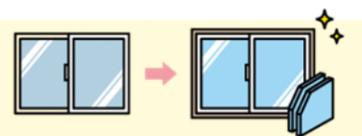


3 住宅を省エネルギー化する

住宅の断熱性・気密性を上げることで冷暖房の使用を減らしたり、熱中症やヒートショックを予防したりできます。

ポイント

- レベル3 省エネリフォーム窓への交換や壁の断熱改修をする
 - レベル3 新築や建て替えの際はZEHを検討する
- ZEH：省エネルギー化と再生可能エネルギーの導入で、年間のエネルギー消費量が正味ゼロとなる住宅
- レベル3 建築物省エネルギー性能表示制度（BELS）などの表示に着目する



4 節電・節水する

電気や水道の使用も^{シーオーツ}CO₂の排出につながっています。他の行動に比べて取り組みやすいものがたくさんあります。

ポイント

- レベル1 エアコン：冷房は室温 28℃、暖房は室温 20℃を目安に設定する
- レベル1 照明：こまめに消灯する
- レベル1 テレビ：見ないときは消す、画面の明るさを適切にする
- レベル1 冷蔵庫：ものを詰め込みすぎない、設定温度を適切にする
- レベル1 洗濯機：まとめ洗いをする
- レベル1 風呂給湯器：入浴は間隔をあげない



5 宅配サービスは1度で受け取る

宅配便の再配達時にも^{シーオーツ}CO₂が排出されています。

ポイント

- レベル1 日時指定をする
- レベル1 置き配や宅配ボックスを活用する



チャレンジレベル

まずは、取り組みやすいレベル1から始めましょう！
レベル1：生活の中で毎日できる
レベル2：少し費用はかかるが、取り組みやすい
レベル3：費用やタイミングがあるときに取り組む

6 働き方を工夫する

働き方を工夫することで、冷暖房の使用や通勤による^{シーオーツ}CO₂の排出量を減らすことができます。

ポイント

- レベル1 クールビズ・ウォームビズ（気候に合わせた服装、冷暖房や給湯機の適度な温度設定）をする
- レベル1 テレワークやオンライン会議を活用する



7 再生可能エネルギー由来の電気へ切り替える

再生可能エネルギーで発電した電気を使うことで、^{シーオーツ}CO₂の排出量を減らすことができます。

ポイント

- レベル2 再生可能エネルギー由来の電力プランに切り替える
 - レベル3 太陽光発電設備を設置する
- 注 設置の際には景観や周辺住民の生活環境に悪影響を与えないよう配慮しましょう。

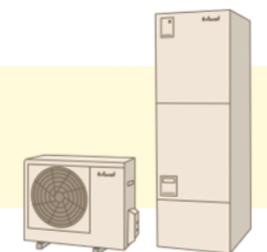


8 蓄電池・高効率給湯器を設置する

昼間に発電して余った電力や給湯時の熱を無駄なく使うことで^{シーオーツ}CO₂の排出量を減らすことができます。また、蓄電池にためた電気は災害時の非常電源としても活用できます。

ポイント

- レベル3 蓄電池を設置する
- レベル3 高効率給湯器を設置する



9 移動をエコにする

スマートムーブや次世代自動車の導入で^{シーオーツ}CO₂の排出量を削減することができます。移動の際には交通ルールを順守し、違法駐車や自転車の放置をしないなど道路の安全性向上に注意しましょう。

ポイント

- レベル1 徒歩、自転車や公共交通機関など自動車以外の移動手段を使う（スマートムーブ）
- レベル1 eスタート（ゆっくり加速）などのエコドライブをする
- レベル2 カーシェアリングを活用する
- レベル3 電気自動車、プラグインハイブリッド車、燃料電池自動車などの次世代自動車を使う→再生可能エネルギー由来の電気で充電すればより効果的に！



10 ごみを減らす

特にプラスチックごみによる環境汚染が問題となっています。「3 R」の実践はごみの減量やCO₂排出量の削減につながります。

ポイント

レベル1 Reduce (ごみを出さない)

- マイバックやマイボトルなど繰り返し使える製品を使用する
- “もの”は手入れや修理をして長く大切に使う
- 利用頻度の少ないものはシェアリングやサブスクリプションを活用する

レベル1 Reuse (くり返し使う)

- ビンなどの繰り返し使える容器を回収して使う
- “もの”を整理する際や手に入れる際にフリーマーケットを活用する

レベル1 Recycle (資源として活かす)

- 資源ごみや家電を正しく分別、リサイクルする
- リサイクル製品を利用する



11 食品ロスを減らす

本来食べられるのに捨てられてしまう食べ物を「食品ロス」といいます。食品ロスに関連して地産地消やコンポストの設置にも取り組んでみましょう。

ポイント

- レベル1 食べ残しは持ち帰る (mottECO)
- レベル1 食べ切れない食品をフードドライブに寄付する
- レベル1 旬や地域でとれた農産物を意識して選ぶ (地産地消)
- レベル2 コンポストで生ごみなどを堆肥化する



12 服は大切に着る

洋服の廃棄問題は日本でも世界でも深刻といわれています。また、細かい化学繊維はマイクロプラスチックとなって自然環境や生き物に悪影響を与えることがあります。

ポイント

- レベル1 洋服を長く大切に着る
- レベル2 環境に配慮した素材の服を選ぶ



マイクロプラスチック

5mm以下の細かなプラスチックを「マイクロプラスチック」といいます。水に流されることで海洋汚染を引き起こしたり、誤って食べてしまった生き物の食物連鎖を通じて体内に悪影響を与えたりすることが心配されています。



13 企業の脱炭素の取組みを応援する

環境に配慮した製品やサービスの購入は企業の環境問題への取り組みやすさにつながります。

ポイント

レベル2 環境に配慮した製品・サービスを選ぶ

レベル2 ESG投資で環境に配慮する企業を応援する

ESG投資：環境・社会・企業統治の3つの観点から企業を分析、評価した上で投資先を決める方法



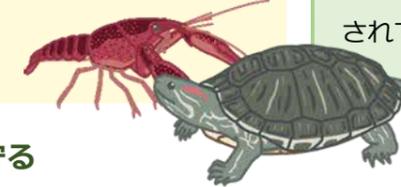
14 生物多様性を守る

本市には豊かな自然と生態系が形成されています。地域の生き物を大切に、みんなで守っていきましょう。

ポイント

レベル1 ペットは最後まで責任をもって飼う

レベル1 外来生物はむやみに飼わない、捨てない (逃がさない)、広げない



条件付特定外来生物に指定されました

アカミミガメ、アメリカザリガニが令和5(2023)年6月に「条件付特定外来生物」に指定されました。これまで通りペットとして飼うことができますが、野外に放したり、逃がしたりすることは法律で禁止されています。

15 快適な生活環境を守る

みんなが快適に過ごせるよう協力しましょう。

ポイント

レベル1 生活騒音やにおいへの配慮をする

レベル1 化学物質の使用や野焼きはできるだけしない



香害・化学物質過敏症への配慮をお願いします

合成洗剤や柔軟剤等に含まれる合成香料などの化学物質による健康障害は「香害」と呼ばれ、香害が原因となって化学物質過敏症を発症する人もいます。化学物質過敏症は、日常生活で使用するものに含まれる、非常に少ない量の化学物質でも様々な健康被害を引き起こされる症状です。香害や化学物質過敏症への理解、配慮をお願いします。

16 地域の環境活動などに参加する

地域の環境活動などに参加することで環境を大事にする気持ちを表せます。

ポイント

レベル1 山林や里山を保全する

レベル1 クリーンアップ大作戦等に参加して公園や道路、河川の美化に取り組む

レベル1 路上喫煙やごみのポイ捨てを防止する

レベル1 身近な生活空間に緑を増やす

レベル1 自然観察会や体験学習に積極的に参加する

